

2026 年度 3 年次編転入学試験問題

(国際学部 国際文化学科)

(科目名:小論文)

2025 年 11 月 9 日(日)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

次の文章を読んで、後の設問（問 1～問 2）に答えなさい。
（解答はすべて別紙の解答用紙に問題の番号を記して書きなさい。）

ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）は 2003 年の総会で「無形文化遺産の保護に関する条約」を採択し、慣習、表現、知識、技術など物理的な形のない伝統的な文化を登録し、保護に努めることを求めています。2024 年末現在で日本の無形文化遺産は 23 件が登録されています。

2013 年に登録された「和食：日本人の伝統的な食文化」では、その特徴・意義が次の 4 点にまとめられています（農林水産省ホームページの記載から）。

(1)多様で新鮮な食材とその持ち味の尊重

日本の国土は南北に長く、海、山、里と表情豊かな自然が広がっていて、各地で地域に根差した多様な食材が用いられ、素材の味わいを活かす調理技術・調理道具が発達しています。

(2)健康的な食生活を支える栄養バランス

一汁三菜を基本とする日本の食事スタイルは理想的な栄養バランスと言われ、また、「出汁（だし）」や「うま味」を上手に使うことで動物性油脂の少ない食生活を実現し、日本人の長寿や肥満防止に役立っています。

(3)自然の美しさや季節の移ろいの表現

食事の場で、自然の美しさや四季の移ろいを表現することを重視し、季節の花や葉などで料理を飾りつけたり、季節に合った調度品や器を利用したりして、季節感を演出しています。

(4)正月などの年中行事との密接な関わり

日本の食文化は、年中行事と密接に関わって育まれ、自然の恵みである「食」を分け合い、食の時間を共にする「宴（うたげ）」の場を通して、家族や地域の絆を深めてきました。

問 1. 以下は、ユネスコ無形文化遺産の候補または既登録のものです。一つを選び、丸数字と名称を記入したうえで、ユネスコ無形文化遺産として登録に値する特徴・意義について、(1)、(2)、・・・と見出しを設け、合計 400 字以内で記述しなさい。

- | | |
|--------------|--------------|
| ① 能楽 | ⑨ 落語 |
| ② 歌舞伎 | ⑩ 漫才 |
| ③ 書道 | ⑪ 和紙（手漉和紙技術） |
| ④ 日本の珠算 | ⑫ 日本人形（製作技術） |
| ⑤ 雅楽 | ⑬ 日本刀剣（製作技術） |
| ⑥ 日本民謡 | ⑭ 漆芸（しつげい） |
| ⑦ 温泉文化 | ⑮ 伝統的な酒造り |
| ⑧ 京都祇園祭の山鉾行事 | ⑯ 日本の木造建築技術 |

問 2. 問 1 で選んだ無形文化遺産（または候補）について、あなた自身との関わりや経験を 200 字程度で記述しなさい